

EIWA UNIVERSE

第31号

発行日 2025年2月26日

「静岡の福祉・幸せを考える」

ハイライト:

- 学生と県議会議員との意見交換会 (1p)
- 静岡英和学院大学同窓会との協働 (3p)
- 2024年度学納金の納入期日・寄付金のお願い (6p)
- 後援会だより (8p)

目次:

学長言	2
宗教委員会 ボランティアセンター	3
学科ニュース	4
研究室探訪 財務課	6
留学生センター 学生課	7
後援会	8

～県会議員との意見交換会にて気づいたもの～

2年半前に設立された、通称名「あずサークル」こと、コミュニティ研究会は、梓川の講義「地域福祉論」から、学生たちが主体的に作りあげた「これからの共生社会を考えあうグループ」で、創造的な活動・実践を続けている。

12月8日、静岡県議会の議員会館において意見交換会が開催された。8人のメンバー（野村、高山、鈴木、橋山、大湖、五幣、青島、梓川）が参画（3回目）し、以下の二つのテーマをもって、「すべての人が、自分らしい生活ができる、住みよい地域社会をつくる、共に生きていく。」ことを考えあった。

第一のテーマは、「部活動の地域移行」にある。なぜ、部活動は地域移行されてきたのかを、歴史的背景や制度・政策からも考えていく。学生一人ひとりがどのような生活と思いをもって部活動に取り組んでいるか、昔と今の学生たちの生活史を振り返りながら考えを巡らせた。学校内での部活動にもメリットとデメリットがある、そして、学外活動ゆえの新しい出会いと生活環境の広がりもある。一人ひとりの学生の内面を想像して汲みとりつつ、これからの日本の教育のあり方も考えていくと、部活動の地域移行には、学生一人ひとりの生き方を変容していくチャンスにもなるのではないかととの共通認識をもつことができた。



第二のテーマは、「待機児童」にある。これからの社会をつくる子どもたちを地域社会で育てていくことに焦点をあてた。隠れ待機児童、地域間格差など、地域社会には多様な課題もあり、それらを地域住民で共有し、解決に向けた協働ができるか、これらはこれからの地域福祉のテーマにもなる。議員さんからは、保育士が超過労働をする昨今の環境改善について説明があった。保育士の負担を軽減すること、保育の環境を改善することからも、地域社会における子育ての展望を考えあえた。

このたびの意見交換から、「子どもの福祉を探究する」「地域社会で子どもを育みあう」「住みよい環境をつくる」等の取り組みが、すべての人々にとっての福祉・幸せにつながることを再認識することができた。その後の打ちあげ「焼肉パーティー」は最高だった！（笑）（コミ福 梓川）



あい ひと たが あい あ
愛する人たち、互いに愛しましょう

学長 永山 ルツ子



永山 ルツ子
(ながやま るつこ)

あい ひと たが あい あ あい かみ で
「愛する人たち、互いに愛しましょう。愛は神から出る
あい もの みな かみ う もの かみ し
もので、愛する者は皆、神から生まれた者であり、神を知っ
あい もの かみ し かみ あい
ているからです。愛さない者は神を知りません。神は愛だから
です。」

てがみ しょう せつ
(ヨハネの手紙I 4章 7-8節)

れんあい じ こい あい か かんじ こころ じ
恋愛という字は、「恋」と「愛」と書きます。どちらの漢字にも「心」という字が入っています。

じてん こい あいて す あ いっしょ おも き も
辞典では、「恋」とは、相手が好きで、いつも会いたい、一緒にいたいと思う気持ち、とあります。
こい す きら き こい
す。どちらかという、恋というものは、「好き」か「嫌い」かで決まるもので、恋をすると、
あいて じぶん み す ねが ひと おお おも おお こい
相手に自分を見てほしい、好きになってほしいと願う人が多いかと思えます。多くの人は、恋をす
ふあん す ひと じぶん いがい ひと はな しつと おも
ると、不安になったり、好きな人が自分以外の人と話していると嫉妬することがあるかと思いま
あいて こころ うば じぶん おも つよ き も こい
す。つまり、相手の心を奪いたい、自分のものにしたいと思う強い気持ちが「恋」なのかもしれません。

あい じてん あい おやきょうだい いつく こころ
では、愛はどうでしょうか。辞典では、「愛」とは、親兄弟の慈しみあう心、とあります。
ことば おも あいて なに むしょう あい ことばとお お
言葉や思いだけではなく、相手のために何かをしてあげる、無償の愛という言葉通り、惜しみなく
あた ゆる いつく あい はんたいご にく あい
与え、赦し 慈しみあうことです。マザーテレサは、「愛の反対語は憎しみではありません。愛の
はんたい むかんしん い だれ ひつよう かん きゅうきよく
反対は無関心です」と言っています。「誰からも必要とされていないと感ずること」は、究極の
ぜつぼう
絶望です。

みな かみ あい のぞ う きょう い い
皆さんは、神に愛され望まれ生まれてきました。今日生きていること、生かされていることに
かんしゃ じぶん ひつよう ひと あい ひと じかん たいせつ す い おも
感謝し、自分を必要とする人たちや愛する人たちとの時間を大切に過ごして行ってほしいと思いま
す。

だれ おも よ だれ いの だれ こころ
誰かのために思いを寄せ、誰かのために祈り、誰かのためになすべきことをする。それは、心を
つ たましい つ おも つ りんじん じぶん あい ほんがく りねん
尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、隣人を自分のように愛するという、本学の理念です。
せかいじゅう ひとびと かな くのう いや あい へいわ よ
世界中の人々の悲しみや苦悩が癒され、愛のある平和の世でありますように。
しゅ み な いの
主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

宗教委員会

2024後期を振り返って

いつも本学のためにお祈りくださり感謝します。宗教主任の佐々木謙一です。2024年度も神様に祝福していただいて、ここまで無事に過ごすことができました。

そのような中、学生企画部が発足されました。2018年以前は、この学生企画部は活発に活動しておりましたが、コロナウイルスの関係でしばらくの間お休みをせざるを得ない状況が続いておりました。しかし、わが静岡英和学院大学にとって必要な学生企画部は、7年ぶりに活動を開始することが出来ました。メンバーは、1年生4人、3年生1人で構成されています。所属は人間社会学部4名と短期大学部1名です。主に、毎週水曜日の礼拝において司式や聖書朗読を担当しております。初めの頃は緊張している様子が伺えましたが、後期になってからは、落ち着いて丁寧に、参加している学生をリードできるようになってきました。その他に、クリスマスカードコンテストを企画したり、礼拝後の催し物を企画したりと大活躍しております。



また、チャペル礼拝は、人間社会学部、短期大学部の1年生全員で行っております。本年になってから、特に後期からは、礼拝後に次週の讃美歌練習をするようになりました。その甲

斐もあって讃美歌を大きな声で歌う学生が目立つようになってきたように思います。

また、11月には137周年記念創立記念礼拝を行いました。永山ルツ子学長に

心のこもった祝辞をしていただき、大木麻里先生をゲストにお迎えして、オルガンを演奏していただきました。このような演奏をしていただいたことにより、学生もその素晴らしさに感動していたようでした。

また、12月にはクリスマス礼拝を持つことができました。聖書朗読、讃美歌はもちろんのこと、キャンドルサービスや学生企画部によるパフォーマンスなどが行われ、1年生にとっては初めてのクリスマス礼拝ということもあり、大変新鮮に感じていたようです。

最後に、わが静岡英和学院大学は、聖書の教えを基盤とした教育を行っているキリスト教プロテスタントの大学あり、イエス・キリストが教えてくださった「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい」という言葉を胸に、学生への教育に励みたいと思っておりますので、どうかご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

(宗教主任 佐々木)



ボランティアセンターだより

静岡英和学院大学同窓会との協働



ボランティアセンターでは今年度、同窓会と協働し、様々な活動に取り組んできました。

静岡市葵区西草深にある静岡英和女学院旧宣教師館では、今年度2回、施設内にあるバラ園などの整備をし

ました。また、12月8日に開催されたクリスマスマルシェのイベントにも参加しました。静岡英和学院旧宣教師館はヴォーリズ建築の一つで国の登録有形文化財にも登録されている歴史ある建物です。通常では入れない歴史ある施設で、活動ができる貴重な機会をいただきました。

また、静岡英和女学院中学校・高等学校で9月7日に開催された文化祭では同窓会の方々とともに、野菜やゼリー、傘等の販売を行いました。現在の学生は同窓生と関わる機会が少ないですが、諸先輩方や来場者の方々と交流ができ、有意義な時間を過ごせました。

今後も、ボランティアセンターや学生の特性を活かし、様々な機関と協力して取り組めることを増やしていきたいと思います。

(ボランティアセンター 荒川)



人間社会学科

人間社会学科の佐々木謙一です。人間社会学科の5メジャーの報告をいたします。学科の活動は以下のとおりです。

心理メジャーでは、恒例の「心理メジャー卒業研究発表会」を12月17日（4時限）、12月24日（4・5時限）にて開催しました。今年の4年生も、発表会が始まるギリギリまで、いつも以上に頑張っています。今年度もより良い発表会となるよう期待しています。

観光地域デザインメジャーでは、地域と密着した活動に力を入れています。2024年度後期は、関係機関と連携したウォーキングツアー「有度山美食探訪」の催行、地域イベント「大学サミット〜しずおかの大学一日体験」への出展等を行いました。引き続き活動を充実させてまいります。

英語メジャーでは学生たちの英語力向上に力を入れ、検定受検を推進しています。教職課程取得希望者に向けて英検受験料助成を案内。12月にはTOEICの学内受験を実施、今年度は昨年度を上回る37名

の受験者で挑みました。教員一同今後とも学生の皆さんへサポートを重ねてまいります。

本学の日本語文化の教員は、学科の科目のみではなく、学部共通の「日本語」の基礎教育科目も担当しています。前期の「日本語検定」の受験者は、準2級・準3級の合格者を含めて、全員が合格しました。日本語の基礎力を固め、さらに文化・文学・言語に関する学生の関心が高まることを期待します。

経済経営メジャーの活動は以下の通りです。菅ゼミはベルデックス静岡による県内学生連携事業に参加、勝田ゼミは留学生が模擬店でベトナムの麺料理フォーを提供、金ゼミは各種の資格対策を実施、川島ゼミは模擬店出店・資格対策・ゼミ合宿の計画を実施しています。

人間社会学科は留学生も多く在籍し国際色豊かな学科であります。教職員一同が丸となって静岡の地に優秀な学生を送り出すように頑張っています。また、皆様のご支援があつてこそ人間社会学科ですので、これからもよろしくお願いいたします。

（人間社会 佐々木）



コミュニティ福祉学科

私は、最初に勤めた専門学校から数えると、今年で29年目の教員生活となります。授業では一貫して紙に印刷したレジュメを配り、それに沿って話をしています。なぜレジュメをつくることにしたのかというと、自身が学生だった頃は先生方のほぼ全てが、口頭以外の手段を用いずに自分の学問・研究を講じられるという授業スタイルであったため、理解が追いつかず、ノートをとるところではなかったという体験をしていたからです。つまり、学生は、講義の筋や流れだけでもわかれば、教員の伝えたいことを理解しやすくなるし、紙媒体だから気づいたことだけでも行間書き込みもできる、と考えてのことです。

思うようにノートがとれないという体験は一年半も続いたでしょうか。その間の私は、通年で十個ほどの講義系の科目を履修していましたが、そのなかから二科目に絞り、とりわけ講義を傾聴し、復習に力を入れることにしてみました。また、それらの科目を担当される先生方の研究紀要に発表された論文、それに著書も、当然十分に理解することなどできませんでしたが、熟読を心がけました。そこで選んだ二科目というのは、自身にとって難解なものでしたが、不思議なことに心を引きつけるもので

もありました。そのうちの一つは、藤間生大先生の「アジア経済史」でしたが、藤間先生は授業のなかで、古代の事象・出来事を証明する様々な方法を説かれました。口幅つたいようですが、私はそのことで学問のおもしろさを知ることができたといつてよいでしょう。さらに、お腹から出る大きな声、メリハリのある語り口から先生の学問に対する熱意が伝わってくることで、先生の人柄に対しても信頼を置くことができたのだと思っています。

その体験を振り返って思うのは、大学の授業が学問・研究に全身全霊を捧げる教員の生き様を伝える場であり、教員がそうすることで学生が成長してくれるのであれば、レジュメを配るのも余計なことなのかもしれないということです。教員生活も残り少なくなりましたが、授業に対する自身の姿勢、レジュメの功罪について、もう一度考えてみたいと思います。



（コミュニティ福祉 植田）

現代コミュニケーション学科

コミュニケーション手段としての日本語について深く学ぶため、現コミ生には「日本語〇〇」「〇〇日本語」という名称の科目が多数用意されています。その中のひとつ「現代文化の中の日本語」について紹介します。

本科目は開設2年目のまだ新しい講座です。初年度は1年生のみの開講であったため受講者も少なく、“第2村松ゼミ”としてこじんまりやっていた。それが今年度は一転30名超の受講希望があったため、ゼミ型授業が難しくなりました。それでも、目玉である受講生によるプレゼンの枠は削りたく



学生プレゼン風景（「記憶に残るCM」）

ありません。講義内容を精選し、時間を確保しました。本稿執筆時点で既に半数の学生が発表を終えましたが、これまでに取り上げられたテーマは「あいみよんの歌はなぜ刺さるのか」「竹内まりや

の魅力」「便利な言葉“やばい・すみません・かわいい”」「記憶に残るCM」「笑とwと草」「『推し』について」など、興味深いものばかり。嬉しい限りです。

プレゼンの目的は、
受講生各々が日々の生

活の中で採取（集）した日本語を持ち寄り、皆で鑑賞・吟味すること。準備に行き詰まった受講生が研究室によく相談に訪れます。私も負けじと様々なネタを教室に持ち込んでいますので、自然と「受講生（若者）vs 村松（おじさん）」のような空気も生まれてきました。望むところです。教員を鍛え、甘やかさないのが正しい現コミ生ですから。

（現コミ 村松）



学生プレゼン風景（「笑とwと草」）

食物栄養学科

食物サークル“Kaede Kitchen”活動報告

2022年に食物栄養学科の有志で立ち上げたサークル“Kaede Kitchen”は、今年で3年目を迎えました。2024年10月には、東京ビッグサイトで開催された「食品開発展2024」に参加し、学生たちは最新の食品業界の動向に触れる貴重な経験を得ることができました。11月には楓祭で模擬店（豚汁、射的）を出店し、12月8日には静岡県主催の「大学サミット～しずおかの大学一日体験～」に参加しました。

「大学サミット」は、静岡県内のほぼ全ての大学が参加するイベントで、小中高校生を対象に「大学を体験しよう！」というコンセプトで開催されました。このイベントでは、1年生4名が参加し、みかんジュース製造過程で廃棄される皮などを再利用した「みかんパウダー」と、バナナの皮を粉末状にして混ぜ込んだチョコチップクッキーの試食を行いました。クッキーは、バナナの皮を10%と18%配合した2種類を用意し、来場者の皆さんに食べ比べていただいた上でアンケートを実施しました。

試食はどちらも好評で、特にバナナの皮を使ったクッキーは意外性がありながら、美味しく仕上がっている点で多くの方から高評価をいただきました。また、たまたま参加されていた一般企業の方から「商品化の予定はあるのか」と

いった問い合わせを受ける場面もあり、学生たちにとって大きな自信につながったようです。

今後も、皆さまのご理解とご協力をいただきながら、意義あるサークル活動を続けてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

（食物栄養 庄司、小川）



研究室探訪



狭間 敏行
(はざま としゆき)
所属:人間社会学科
職名:准教授
専門分野:
「アメリカ文学(詩・小説)」
「比較文学(日米英)」

・私の研究

私はアメリカ文学が専門です。特に20世紀の代表的詩人Robert Frostについて複数の論文を書いています。彼は大衆から愛された詩人で、今でも多くの教科書に掲載され各年代のアメリカ人に読まれ、ケネディ大統領の就任式では詩を朗読しました。一方で当時の文壇では現代文明の諸問題を都市中心に表現するモダニズムが台頭し、農村とそこに生きる人間たちを描く彼の姿勢は異彩を放っていました。そうした保守的にも反発的にも見える多面的な彼の文学者としてのあり方に魅了され文学研究の道を進んできました。彼は40まで詩人



として世に出られませんでした。同様に、私も都内で大学非常勤講師を務めながら細々と文学を研究し、時に警備などの副業をして生活しました。思い返すと、机上で論理をこねくり回しかねない私にとって、様々な状況の人々に交じり過ごせたことは人間の諸相についての

得難い学びでした。文学とは人間の心の内奥から出た言葉の結晶。多様な立場の人間、心理、心情を言葉からひも解き、私たちの想像力を押し広げていく文学の可能性を自ら堪能し、学生の皆さんと人間観を深め合える活動を期しています。

・社会貢献活動

23年に静岡県高等学校英語スピーチコンテストの審査員を務めました。英語を介してそれぞれの視点から社会について彼らが意見する姿に感銘しました。高校で出張授業する際には簡単に英語の詩を日本語の詩と比較し、相互の文化的特徴を見るだけでなく、人間として共通する普遍的な心情についても意見交換に努めています。

・私のゼミ

詩と聞く数居が高いと思うかもしれませんが、洋楽の詞もまた音と言葉に乗せて多様な世界を私たちに気付かせてくれます。ゼミでは洋楽も含めた詩作品・小説を題材にその他の学問とも接続しながら、学生との意見交換に主眼を置き研究を進めます。今年の2年生はイギリスのバンドRadioheadの曲を題材に。3年生からはそれぞれの卒論を目指して私からも提案しながら、学生が自ら選んだ文学作品に英語で向き合いながら日々発表を重ねて人間への考察を深めています。自分自身や他者の発する言葉に感度を高めていきたい方にぜひゼミのドアを叩いてもらいたいと思います。



財務課

～令和7(2025)年度 学納金の納付書発送及び納入期限について～

	前 期 ※1	後 期 ※1
納付書発送時期	令和7(2025)年4月上旬	令和7(2025)年9月上旬
納入期限 ※2	令和7(2025)年4月25日(金)	令和7(2025)年10月2日(木)

※1 学納金は、前期と後期の2期に分けて納入いただきます。

但し、新入生(1年生・3年次編入生)の前期分は、入学手続き時に納入済みです。

※2 家庭の事情等により、期限内に学納金の納入が困難な場合は、分割・延納が可能(別途手数料あり)ですので、納入期限までに学生課(Tel:054-264-8873)にご相談ください。

寄 付 金 の お 願 い

将来を担う学生のために皆様からの温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

学校法人HPの「インターネット経由」または、「指定振込用紙」でお申込ください。

留学生センターだより

『【楓祭】今年も模擬店が大盛況』

本年度の楓祭には、留学生センターから初日16日(土)が模擬店部門へ1ブース、2日目17日(日)に展示部門に1教室出展しました。学生スタッフ代表の牧田さんを中心に、6月に行われた国際交流フェア終了後から準備を開始



し、毎週2回会議を行って計画を練り、楓祭が近づくにつれて材料の調達や試食会、展示資料の作成などを行い準備を進めました。今年は例年とは違った趣向にしたいという学生スタッフの総意により模擬店メニューはガレットに決定しました。ガレットは生地にそば粉を使ったクレープのようなフランス郷土料理でフライパンで薄く伸ばした生地を焼いて、その上にベーコンや卵などを載せた食事タイプのものでアイスや小豆などを載せたデザートタイプのものと3種類



を販売しました。見栄えもお洒落で、大変評判が良く、無事完売することができました。

展示部門では留学生の母国や海外留学先情報を手作りパネルで紹介しました。また、恒例になりましたが来場者に民族衣

装のコスチュームを着ていただきチェキで撮影して写真をプレゼントしました。今年も大変好評でした。

『3年ぶりの茶道体験開催』

コロナ禍で開催できなかった『日本文化体験【茶道体験】』を3年ぶりに開催しました。久しぶりということもあって9名的女子留学生が申し込みされ、茶道同好会の皆さんの御指導の下、正座をして自分たちでお抹茶を立てる体験をしました。とっても可愛い和菓子も美味しくいただきました。



『清水国際高校との交流会』

12月13日(金)、本年度も清水国際高校に待され、インドネシア人留学生のナタニアさんとベリリアンさん(いずれも人間社会学部



1年)の二人が、進学研究部の生徒7人と国際交流を行いました。二人は母国の紹介プレゼンを事前に用意して、わかりやすく説明してくれ、たくさんの質問を受けていました。高校生のほとんどが昨年度も交流会に参加していて、最初から和やかな雰囲気でのティータイムや競技かるたなどを通して、親交を深めていました。

(留学生センター 平井)

学生課

進化を続ける楓祭

11月16日(土)・17(日)に第59回楓祭「楽-WAKUWAKU-」を開催しました。天候にも恵まれ、2日間合わせて1,500名近い方にご来場いただきました。出展団体も30団体を超え、盛大に実施することができました。また、今年のメイン企画は1日目に声優の柿原徹也さんを招いてのトークショー、2日目に昨年大好評であったマグロ解体ショーを今年も行いました。柿原さんのトークショーでは楓祭初の有料開催となりましたが、北は北海道、南は九州の長崎など全国から楓祭にご来場いただきました。マグロ解体ショーでは昨年よりもマグロの大きさをグレードアップし、お客さんに楽しんでいただながら、美味しい日本産の本マグロを食べていただきました。



また本年度は新たな試みにもチャレンジしました。広報では、学内のイラストサークルにポスターやチラシのデザインを依頼したとともに、静岡鉄道さんと静鉄バスさんに車内広告を依頼し、楓祭直前の約2週間掲載をしてもらいました。



他にも、静岡市内の学校関係(大学・高等学校・専門学校)では初となるPayPayを学園祭に導入しました。希望団体のみではありましたが、お釣りが少なくて済み、お金を触らないため衛生的な店舗運営が可能になりました。収入管理も容易になり、来年度以降も有効に使っていこうと考えています。



来年度は節目となる60回目の楓祭です。新しいことを取り入れ、進化を続けていく楓祭を是非今後とも応援してください。

(学生課 荒川)

後援会だより

2024年6月25日（火）に、2024年度静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部後援会第1回理事会が開催されました。

理事の皆様には5つの議案（2024年度役員選出、学校法人静岡英和学院評議員の推薦、静岡英和学院維持協力会役員の推薦、2023年度事業報告及び決算、2024年度事業計画及び予算）をご審議いただき、全てご承認いただきました。

後援会会則では、後援会の活動として、学生の厚生福祉及び奨学、施設設備助成、研究活動助成、地域社会への貢献促進を行うものとされており。学生生活を豊かにするため、学生や関係部署の声に耳を傾け、後援会活動へ反映させていきます。

（総務課 倉田）

2024年度 後援会役員名簿

（順不同）

No.	役職名	氏名	備考
1	会長	河岸 照美	
2	副会長（理事）	川瀬 昌之	
3	副会長（理事）	岩田 理香	
4	常任理事	松浦 好朗	
5	常任理事	大石 恵子	
6	会計（理事）	新名 隆大	
	会計	倉田 怜実	事務部総務課主事補
7	監事	鈴木 佳奈子	
8	監事	鈴木 敬子	新規役員
9	理事	原川 恭子	
10	理事	千野 有希子	
11	理事	中端 晃子	
12	理事	舟山 浩美	
13	理事	宮園 恭子	
14	理事	古谷 真由美	
15	理事	稲葉 静恵	
16	理事	大畑 由香	
17	理事	松坂 克世	
18	理事	山田 誠	
19	理事	鳥居 修	新規役員
20	理事	松島 啓五	新規役員
21	理事	宮下 淳	新規役員
	事務委員	松澤 重喜	事務部長
	事務委員	杉田 愛子	事務部総務課主任

2023年度 決算書

収入の部計	79,705,945	円
支出の部計	23,155,862	円
翌年度繰越額	56,550,083	円

収入の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
会費	26,400,000	26,325,000	75,000	会費 年間@30,000円
利子等雑収入	300	356	△ 56	
預り金収入	0	0	0	
前年度繰越金	53,380,589	53,380,589	0	
計	79,780,889	79,705,945	74,944	

支出の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
会議費	50,000	41,744	8,256	
役員会費	50,000	41,744	8,256	理事会等経費
事業費	24,520,000	22,885,942	1,634,058	
施設設備費	7,870,000	7,591,654	278,346	環境整備 等
広報関係費	6,000,000	5,818,340	181,660	国外広告（JR静岡駅・東静岡駅）等
会報発行費	120,000	106,953	13,047	学報「英和ユニバース」（年2回発行）
学生費	10,430,000	9,308,995	1,121,005	学内奨学金・卒業生へ記念品贈送 等
文化活動費	0	0	0	
慶弔費	100,000	60,000	40,000	
事務費	400,000	228,176	171,824	
事務費	30,000	0	30,000	
消耗品費	50,000	0	50,000	
通信運搬費	150,000	11,176	138,824	郵送料・振込手数料 等
印刷製本費	100,000	187,000	△ 87,000	
渉外費	70,000	30,000	40,000	
未払金	0	0	0	
雑費	100,000	0	100,000	
予備費	54,710,889	0	54,710,889	
計	79,780,889	23,155,862	56,625,027	

2024年度 収支予算書

（2024年4月1日より2025年3月31日）

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
会費	21,750,000	26,400,000	△ 4,650,000	会費 年間@30,000円 留学生・退学者等を除いた学生数 725人を元に計算
雑収入	350	300	50	
前年度繰越金	56,550,083	53,380,589	3,169,494	
収入合計	78,300,433	79,780,889	△ 1,480,456	

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
会議費	50,000	50,000	0	
役員会費	50,000	50,000	0	理事会等経費
事業費	23,510,000	24,520,000	△ 1,010,000	
施設設備費	7,980,000	7,870,000	110,000	環境整備、学生用パソコンリプレイス
広報関係費	6,000,000	6,000,000	0	看板広告（東静岡駅）WEB広告等
会報発行費	110,000	120,000	△ 10,000	学報「英和ユニバース」（年2回発行）
学生費	9,320,000	10,430,000	△ 1,110,000	バスマット総合プログラム、学内奨学金
慶弔費	100,000	100,000	0	
事務費	280,000	400,000	△ 120,000	
事務費	10,000	30,000	△ 20,000	
消耗品費	50,000	50,000	0	
通信運搬費	50,000	150,000	△ 100,000	郵送料、振込手数料 等
印刷製本費	100,000	100,000	0	
渉外費	70,000	70,000	0	
未払金	0	0	0	
雑費	100,000	100,000	0	
予備費（翌年度繰越額）	54,360,433	54,710,889	△ 350,456	
支出合計	78,300,433	79,780,889	△ 1,480,456	

※ 科目間の流用を認める。



静岡英和学院大学
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY



静岡英和学院大学短期大学部
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

〒422-8545

静岡市駿河区池田1769

TEL 054-261-9201 FAX 054-263-4763

最新情報 <http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp>

ご意見・ご感想 info@shizuoka-eiwa.ac.jp

企画・編集 学報委員会